

2016年4月25日

日本初!キタイワトビペンギンの三世代繁殖に成功

繁殖シーズンを迎え、たくさんのかわいいヒナたちが誕生しました

京急グループの株式会社京急油壺マリンパーク（博物館相当施設：神奈川県三浦市，社長：草川 晴夫，以下 京急油壺マリンパーク）では，キタイワトビペンギンたちが繁殖期を迎え4月17日から23日までの間に6羽のヒナたちが誕生しました。さらに，当館で繁殖した二世代目のペンギン同士のペアからヒナが誕生したことで，日本初となるキタイワトビペンギンの飼育下での三世代繁殖に成功しました。

当館は、1985年にキタイワトビペンギンの野生個体を導入し、同種の繁殖・保護に努め、2005年には飼育下での二世代繁殖に成功したことから、国内の動物園・水族館に与えられる最高の栄誉「古賀賞」を授与されました。その後も10年以上にわたり、巣台の改良や巣材の変更などを行い続け、繁殖に力を入れて参りました。

古賀賞受賞個体の兄弟にあたる二世代個体「ペンペン(メス)」と、別のペアから産まれた二世代個体「ツバサ(オス)」は、2013年にペアを作り、三世代目のヒナ誕生に期待がかけられていましたが、無精卵が続き、繁殖には至りませんでした。そこで、交尾しやすくなるように飼育員が巣材の深さの調整などを行ったところ、2016年3月11日と16日に産卵し、4月21日には1羽目のヒナが、22日には2羽目のヒナが無事に孵化しました。これにより、当館飼育下での三世代繁殖に成功したことになります。キタイワトビペンギンは通常2卵を産卵し、2羽のヒナが孵化しても1羽しか育てない習性があることから、もう1羽は飼育員による人工保育で育てられます。

三世代目となった個体を含むヒナたちはフワフワのうぶ毛に包まれ、ゴールデンウィーク頃には親からエサをもらう様子などが見られます。

詳細は別紙のとおりです。



写真：母親の「ペンペン」からエサをもらうヒナ

別紙

キタイワトビペンギンについて

学名：*Eudyptes chrysocome*
英名：Rockhopper Penguin
目名：ペンギン目 ペンギン科 マカロニペンギン属
分布：南極大陸周辺の島
備考：両足を揃えて飛び跳ねながら移動する様子が、名・英名の由来となっています。イワトビペンギンは生息域や身体の特徴から、キタイワトビペンギン・ミナミイワトビペンギン・ヒガシイワトビペンギンの3種に分けられており、このうち国内で飼育されているのはキタイワトビペンギンとミナミイワトビペンギンの2種です。当館ではキタイワトビペンギンを飼育しています。

京急油壺マリンパークについて

名称 株式会社京急油壺マリンパーク
所在地 神奈川県三浦市三崎町小網代 1082
代表者 取締役社長 草川 晴夫
営業開始 1968年4月27日
営業時間 9:00～17:00
※5月3日(火・祝)・4日(水・祝)は8:00～18:00
入園料金 大人：1,700円 中学生：1,300円 小学生：850円 幼児(3歳以上)：450円
ペット：500円(ペット入園にはお手続きが必要です)
アクセス 車：横浜横須賀道路 衣笠I.Cから三浦縦貫道路経由(10km)
電車：京急線・品川駅より三崎口駅(約65分/快特)
三崎口駅より油壺行きバス(約15分)終点下車徒歩5分

※本件に関する紙面掲載および放送時は、当社名の告知をお願いします。

お客様からのお問合せ先 TEL. 046-880-0152 (営業時間内)

以上